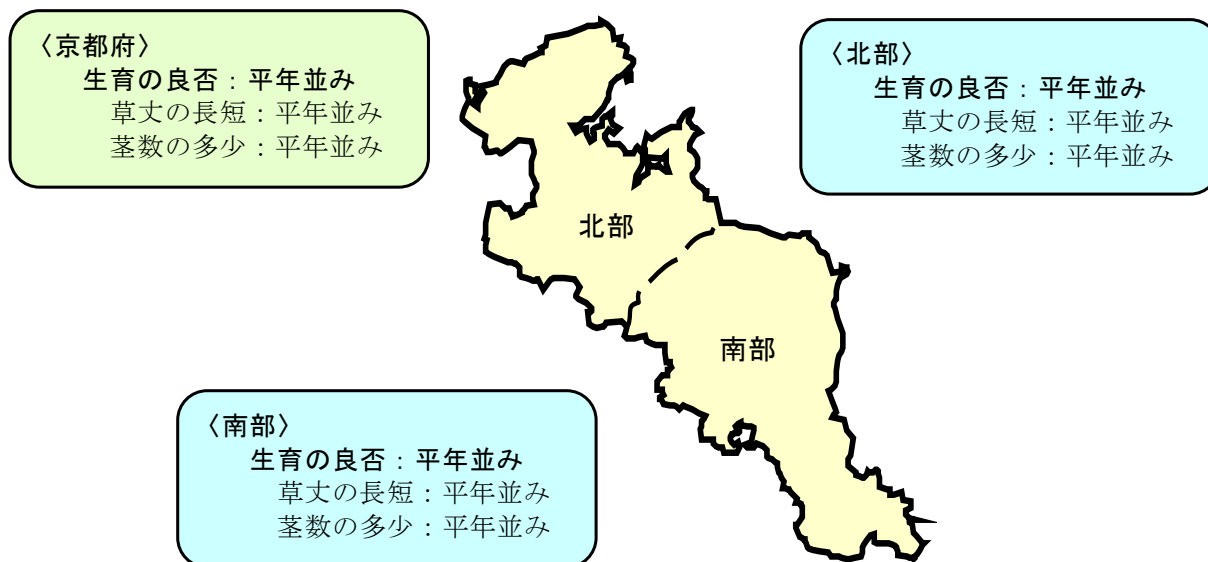


## 平成30年産水稻の8月15日現在における生育状況（京都府）

### － 生育は「平年並み」 －

- 1 田植最盛期は、南部は「平年並み」となり、北部は平年に比べ1日早くなったことから、京都府は1日早くなった。
- 2 生育は、6月に一時気温・日照時間が平年を下回ったものの、全般的には高温・多照で経過したことから、南部、北部ともに、草丈・茎数は「平年並み」となった。  
このことから、京都府の生育は「平年並み」で推移している。
- 3 出穂最盛期は、7月以降高温・多照で経過したことから、平年に比べ南部は4日、北部は3日それぞれ早くなり、京都府は3日早くなった。
- 4 被害は、平成30年7月豪雨による、冠水・土砂流入等の被害がみられたほか、山間部を中心にシカ及びイノシシによる獣害等がみられる。

図 作柄表示地帯別の生育状況（8月15日現在）



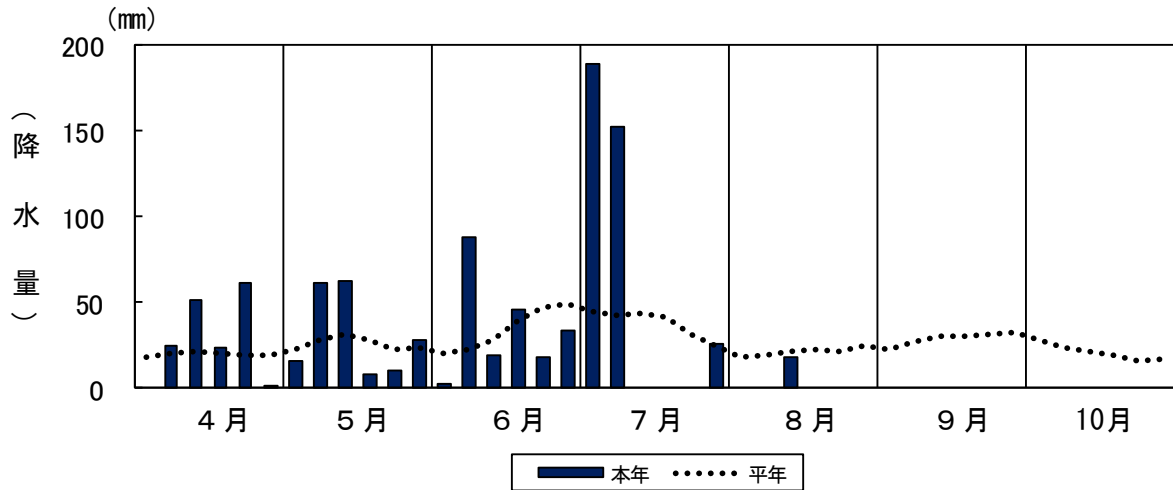
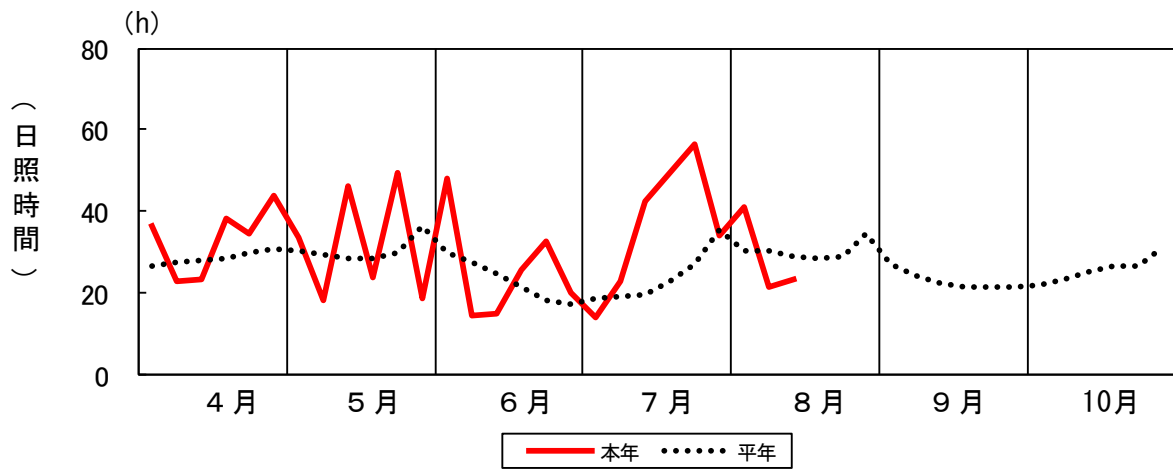
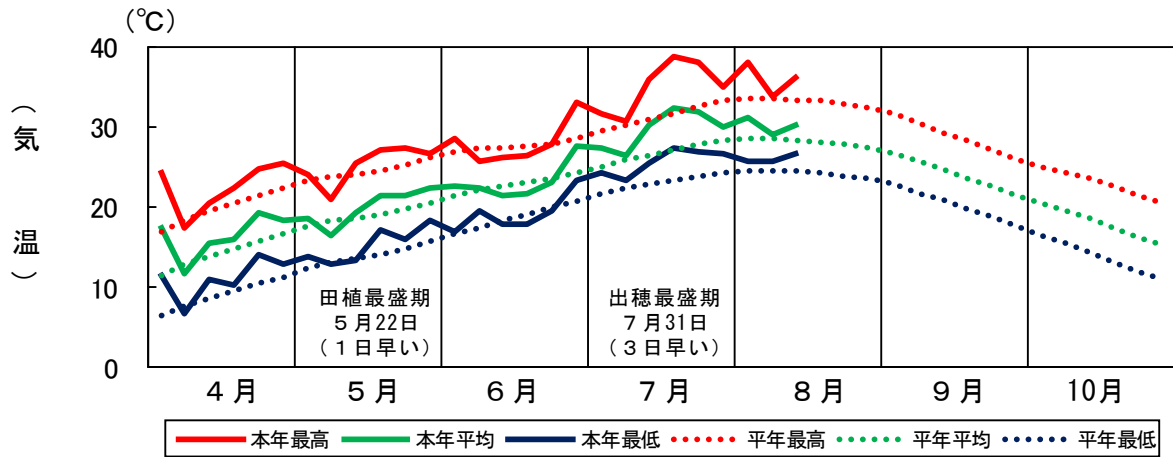
- 本調査の生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況等を総合して、8月15日現在における稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。
- この資料は、「平成30年産水稻の8月15日現在における作柄概況及び生育状況（近畿）」（平成30年8月31日公表）の補足資料として作成したものである。

本資料は、近畿農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2018.html> 】

【参考】

京都府（京都市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注： 田植期及び出穂期の最盛期は、府平均の期日である。

なお、（ ）内は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 統計部 統計調査チーム（京都府担当）

電話：（代表）075-451-9161 内線 2664

（直通）075-366-2005

FAX： 075-451-0079